

光・風・音のある学校

かなづ

9月号特別号
令和5年9月8日

自ら学び、心豊かで、たくましく生きる金津っ子の育成

ようやく朝晩に涼しさを感じられるようになったこの頃、皆様にはお健やかに過ごしのことと存じます。平素より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

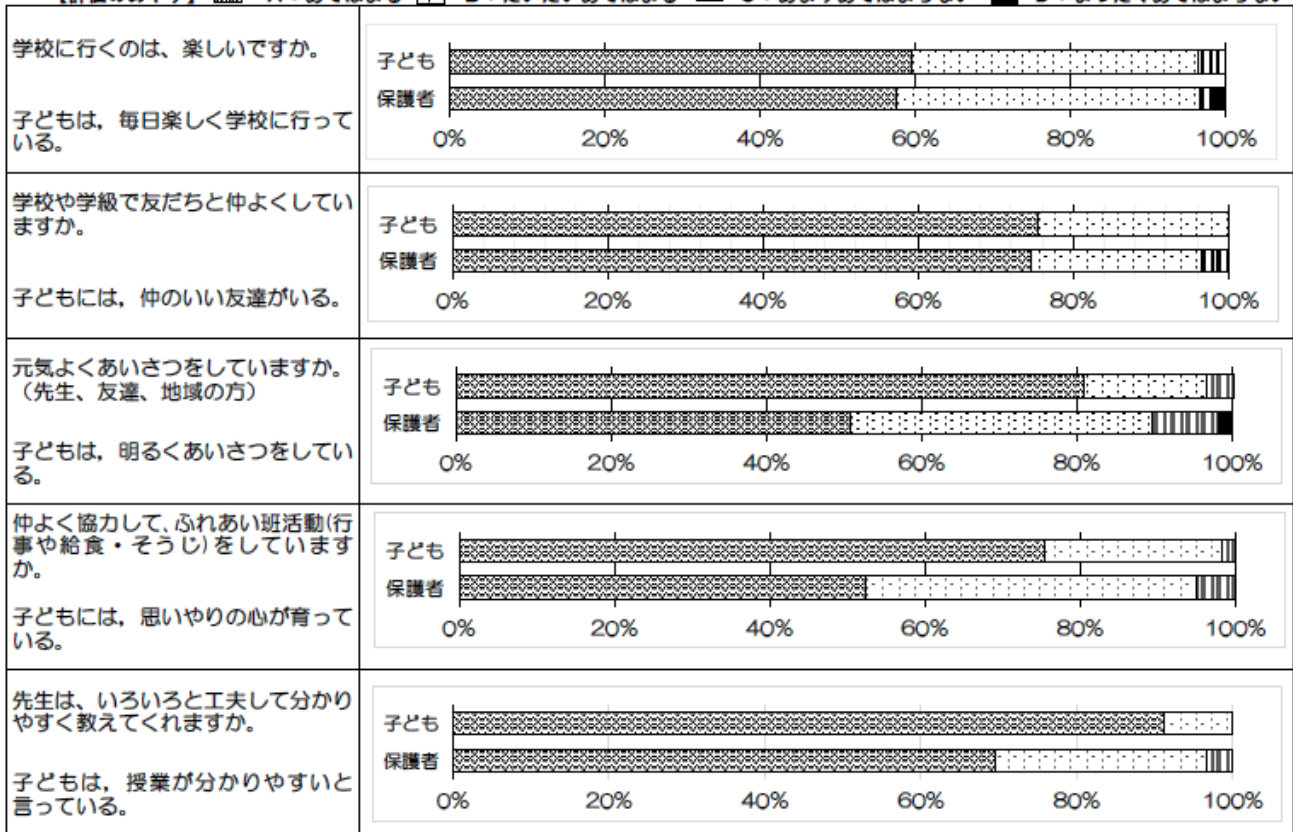
日中はまだまだ暑い中ですが、子どもたちは2学期の目標を立てて毎日の学習や生活を一生懸命がんばっています。今週から9月30日（土）運動会に向け、本格的に準備や練習が始まりました。子どもたちには「自分たちで考え、工夫し、難しいことにもあきらめずに挑戦する」ことで、どの子どもも満足感や達成感を感じることができる運動会にしたいと考えています。

さて、7月に保護者の皆様に回答いただきましたアンケートを集計・分析しました。本アンケートの結果を真摯に受け止め、金津小学校の保護者の皆様の思いを今後の教育活動の改善に活かしていきたいと思ひます。ご協力ありがとうございました。

また、4月に行った学力調査の結果をお知らせします。この結果を分析し、今後の学習指導に活かしていきたいと思ひます。

令和5年度 前期 児童・保護者 学習・生活アンケート集計 7月実施

【評価のめやす】 ■ A:あてはまる □ B:だいたいあてはまる ▨ C:あまりあてはまらない ■ D:まったくあてはまらない

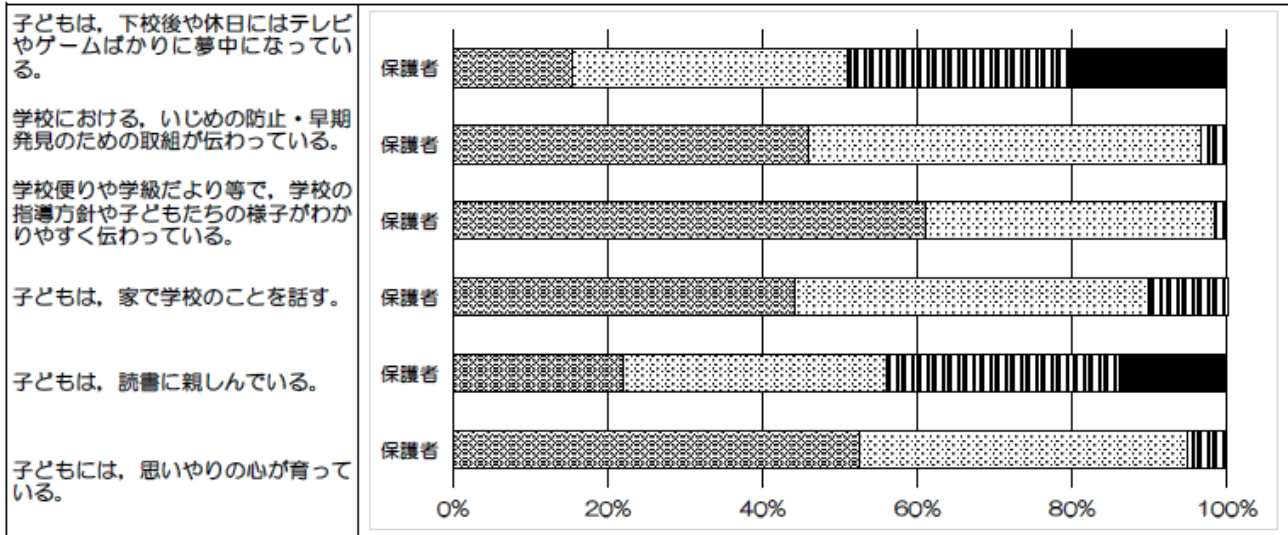


<p>自分で計画を立てて、勉強していますか。（家庭で、学年の目標時間を守って、勉強していますか。）</p> <p>子どもは、自分で計画を立てて勉強している。（学年の学習時間（学年×10+10分）や時間帯を守って行うなど）</p>	
<p>学校や家庭・地域で、よい言葉づかいをしていますか。</p> <p>子どもは、よい言葉づかいをしている。</p>	
<p>学校や家庭で、自分の物やみんなで使う物を整理整頓していますか。</p> <p>子どもは、身のまわりの整理・整頓ができる。</p>	
<p>朝ごはんを 毎日食べていますか。</p> <p>子どもは、朝ごはんを食べて学校に行っている。</p>	
<p>自分にできるお手伝いやボランティア等に取り組んでいますか。</p> <p>子どもは、進んでお手伝いをしている。</p>	
<p>将来の夢や目標を持っていますか。</p> <p>子どもは、将来の夢や目標を持っている。</p>	
<p>1日（平日）に平均してゲーム・ネット等をしているか。 （A:1時間未満 B:1時間以上2時間未満 C:2時間以上3時間未満 D:3時間以上）</p> <p>子どもは、1日（平日）に平均してゲーム・ネット等をしているか。 （A:1時間未満 B:1時間以上2時間未満 C:2時間以上3時間未満 D:3時間以上）</p>	

【児童アンケート】

<p>学級園やプランターの世話、金津の森での体験活動、生活・総合の学習などをとおして、自然を大切にしましたか。</p>	
<p>毎月の生活目標の反省や、セルフチェックカードで、「〇」になるようにがんばっていますか。</p>	
<p>授業中は、よく考えて発言していますか。</p>	
<p>先生や友だちの話を最後までしっかり聞いていますか。（学校集会や行事もふくめて）</p>	
<p>タブレットを使った学習は楽しいですか。</p>	
<p>自分には、よいところがあると思いますか。</p>	
<p>いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。</p>	
<p>授業中は、よく考えて発言していますか。</p>	

【保護者アンケート】



児童評価では、A+B 評価（肯定的評価）が 90%以上の項目は 20 項目中 15 項目となっています。A 評価が 50%以上の項目は 20 項目中 17 項目となっております。「計画を立てて学習」「言葉遣い」「整理整頓」「お手伝い」「将来の夢」が児童と保護者で差が大きいように思います。児童は家の方が思っているより目が届かないところでも（だからこそ）しっかりとできていることも多いと思います。ご安心してください。家では、節度を守って気分転換やリラックスできると思います。今後、それぞれの取組の改善を図るとともに、C 評価や D 評価をつけた児童に対して、個別に支援・指導を行っていきます。

保護者評価では、A+B 評価（肯定的評価）が 90%の項目は 18 項目中 8 項目となっています。

A 評価が 50%以上の項目は 18 項目中 8 項目となっております。「計画を立てて勉強」「言葉づかい」「読書」「整理・整頓」「お手伝い」「将来の夢」「ネット等の時間」「テレビやゲームに夢中」の項目では、A+B 評価が 80%未満でした。今後、保護者の皆様・地域の皆様と連携しながら、児童が自ら考えて正しく行動できる子を目指して、工夫した教育活動を行っていきたいと考えています。よろしくお願ひいたします。

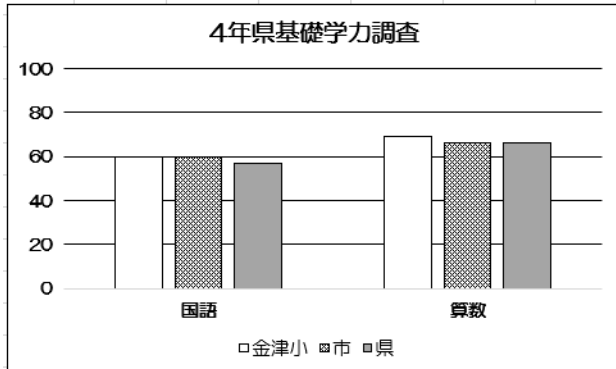
保護者のご意見より

- ・毎日ご指導ありがとうございます。先のことですが、上記の友達や学校のことを話す、のように、協力/困り事をすなおに周りに相談できるように成長できればと思います。
 - ・担任の先生がとても親身になって相談にのってくださり、子供のこともちゃんと把握してくださっているののでいつも的確なアドバイスや勉強方法を教えてください。いつもありがとうございます。
 - ・今年度から複式学級ということで、これまでメリット面が大きく取り上げられた説明がされてきましたが、実際に複式学級になってどんな変化があったのかが知りたいです。メリット・デメリットのどちらもあると思っています。どちらも共有していただくことで家庭でもよりフォローしやすくなるのではないかと思います。
- 学級としましては、人数が増えたことで多様な考えが交流でき、話し合いがより活発になったり、お互いに思いやりする姿が見られたりと温かな人間関係ができています。学習では、2 学年同じ教室で別々に行っている教科は算数科です。その時間は担任が一人で 2 学年分の授業をすることとなります。そこでメリット・デメリットの両面が見られます。
- メリット：児童が自分たちで学習を進めることを自覚し、学習に対する主体性が見られます。
 デメリット：ずっと担任がついていることができないので、その場で細かなつまずきや支援ができないことがある。→学習後の児童の学びから次時の教材研究を綿密に行うことで児童がつまずきそうな場面に合わせて支援に入るようにするなど、試行錯誤をしながらよりよい学びになるように日々努めています。
- ・YouTube を見る時間が増えてきました。約束で 1 日 30 分×2 回まで、となっていますが、オーバーしがちです。特に土日は緩みがちです。
- アンケートにもあった「ゲーム・ネット等の時間」については、コロナ禍から比べますと改善傾向にあります。学校では、タブレットは学習用具の一つとして活用していますが、子どもたちにとっては、娯楽の一アイテムとして身近にあるものようです。学習への有効活用を通して、タブレットに対する認識や利用の仕方が改善できるように努めていきたいと思っています。

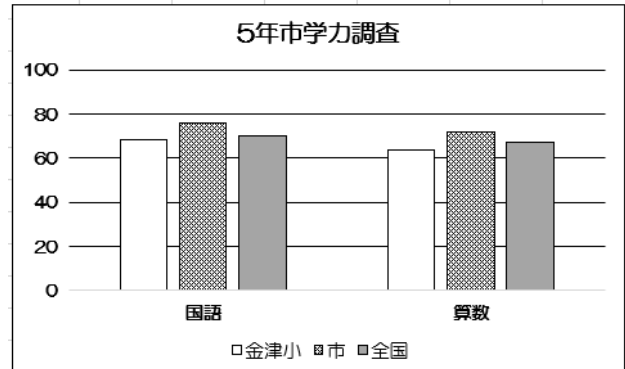
4月17日・18日に、県基礎学力調査（4年：国語・算数、6年：社会、理科）と市学力調査（5年：国語・算数）、全国学力・学習状況調査（6年：国語・算数）を実施しました。

本校では、以下の結果を分析し、児童の学習定着状況の把握に努め、今後の授業や学習指導の改善に役立てて参ります。

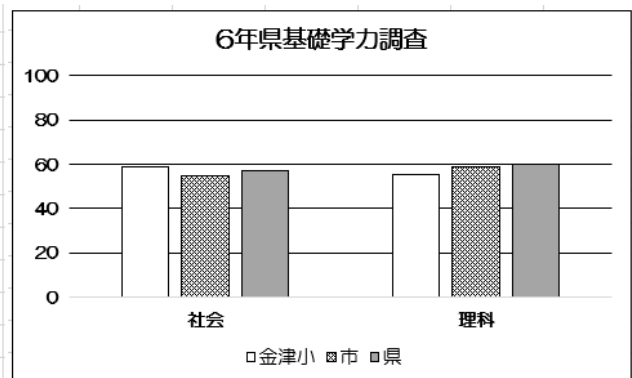
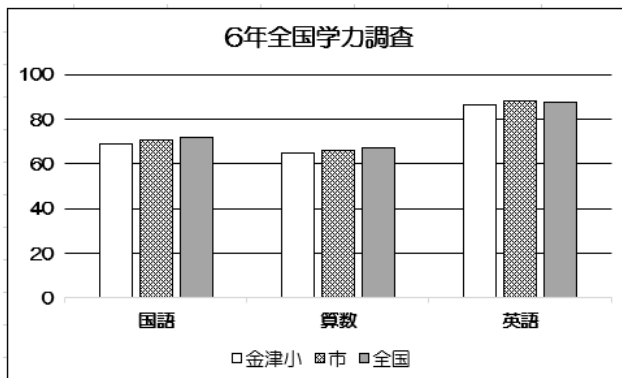
なお、各学力調査により測定できるのは児童の学力の特定の一部であり、また学校における教育活動の一側面であることをご理解くださいますようお願いいたします。



4年生は、国語、算数とも市、県より同等、やや上回っています。これまで通り、基礎基本を大切にするとともにまとめやふりかえりの充実を図っていきます。



5年生は、国語、算数とも市、県の平均をやや下回っています。個別指導をしながら基礎基本を充実させていきます。



6年生は、社会は市・県の平均を上回っていますが、他はやや下回りました。小学校最後の1年で、個々の得意なところはさらに伸ばし、苦手は克服できるように、分析を活かして今後の指導につなげていきます。

〈学力調査分析〉

- ・国語：説明文、主述・修飾語・敬語、条件に合わせて正確に記述することに課題がある。
- ・算数：生活に結び付いた場面の活用に課題がある。
※漢字、算数では計算といった基礎的な力がしっかり身につけていない児童がいる。
- ・社会：複数の資料から考察する力がついてきたが、資料から問いを見出すことに課題がある。
- ・理科：理科用語を使って説明したり、結果や事象を関係づけて考えたりすることに課題がある。
- ・質問紙調査：図書館に行ってよく本を借りているが、読書好きの児童はそれほどでもない。日常的に読書したり、新聞を読んだりしている児童とそうでない児童の2極化が見られる。

〈今後の取組〉

- 複数の資料から課題に必要な情報を取り出し、考えを記述する場面を授業に取り入れる。
- 朝学習のレベルアップ問題を学年の課題に合ったものにし、週末の宿題に弱みを中心とした問題に取り組む。
- 問題をよく読み、何を求めるのか。（分かっていること、分からないこと、使うこと）を確かめることを習慣化する。
- 朝学習などで新聞を手に取り、記事を読んだり、読んだことから考えたりする機会を増やす。